



教育目標 夢をもち高め合う子

富士見

学校だより NO.7
磐田市立富士見小学校
令和2年11月26日

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のために、学校の行事や学習活動の計画を大きく変更して進めてきています。保護者の皆様には、その都度、状況に応じた学校の対応を御理解いただき、感謝しております。

11月12日・13日には、6年生が修学旅行に出掛けました。東京方面に出掛ける計画は、命・健康を守ることを最優先に考え伊豆半島や山梨方面への旅行となりました。例年とは違う場所の見学や宿泊体験でしたが、コロナ対策を十分に行う中で友達との楽しい思い出をつくることができました。修学旅行の様子をHPに掲載してありますので、ぜひ御覧ください。ところで、この辺りの学校の修学旅行が、軒並み東京…となったのはいつ頃からなのでしょう？

<12月・1月前半の行事予定>

1	火	健康の日 学級清掃 1・2年生ET	19	土	
2	水	第2日課 放課後子供教室	20	日	
			21	月	第2日課
3	木	学級清掃 もこもこ読み聞かせ 1・2年生ET 6年生薬学講座	22	火	第2日課
4	金	さわやかタイム(学び)	23	水	第2日課
			24	木	第2日課
5	土	城山中資源回収	25	金	第2日課 2学期終業式(WEB会議システム)
6	日	地域防災訓練 (今年度は、地域としても縮小して実施)	12月26日(土)～1月4日(月)冬休み		
7	月	第2日課	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>今年度の冬休みは例年より短めです。せっかくですので、年末年始の行事をお子さんと一緒に楽しんでほしいと思います。家族の温かさを一年間で最も実感できる時間に……。</p> </div>		
8	火	学級清掃			
9	水	第2日課			
10	木	学級清掃			
11	金	さわやかタイム(学び)			
1月 前半					
12	土	城山中資源回収予備日	5	火	特別日課3時間 3学期始業式(WEB会議システム)
13	日		6	水	短縮日課4時間 給食開始
14	月	第2日課 5・6年生委員会活動	7	木	短縮日課4時間
15	火	第2日課 年末の交通安全運動 教育相談日 (街頭指導)	8	金	第2日課5時間
16	水	第2日課 3年2組消防車見学	9	土	
17	木	学級清掃 3年1組消防車見学	10	日	
18	金	第2日課 3年3組消防車見学	11	月	成人の日

11月25日現在の予定です。今後の状況により変更する可能性があります。

就学時検診での校長の話

毎年秋になると、来年度1年生に入学する子供たちが、保護者と一緒に富士見小学校に来て健康診断を受けます。

その時の、校長挨拶での話です。(HPでも紹介しています。) 9年間の義務教育への第一歩を踏み出した時の、爽やかな緊張感を思い出されるのではないのでしょうか。

小学校は、“学問の入り口”をくぐる時です。

このようにお伝えすると、『ひらがなほどの程度までできていればいいのか』『足し算や引き算は入学前に教えておくべきか』といった御質問が寄せられます。読めれば便利ですが、学びの世界が広がるのですぐに覚えられます。書き順や、止め・はね・はらいがあやふやだと、直すほうがかえって大変になります。

早く教えて得をするより、小学校で新しいことを勉強したいという気持ちをなくしてしまう損が大きいのです。

次いで小学校は、“仲間と仲良く”生活する場でもあります。

さまざまな人が集まり、集団で生活するのが学校ですから、至極当然と言えるでしょう。

ただ、これがなかなか難しいということも、またお分かりと思います。友だちと折り合いを付けながら協力したり、辛抱強く取り組んだりする心の強さが必要となります。

この点については、入学後も折に触れてお話させていただきます。

さらに小学校は、“人としての良い習慣”を育てる所です。

あいさつができることは、思いやり、相手を認めるもとになります。

返事ができることは、素直さの表れであり、自分を認める礎につながります。

靴がそろえられることは、けじめがつけられる根本へと結び付きます。

そして、自分のぞんざいや勝手だけで生活する恥ずかしさを、子供たちは悟っていくことになるのです。

私たち富士見小教職員は、106名の新入学児の人間形成に関わる大きな責任とやりがいを感じ、準備を始めていきます。

教頭の独り言 ～最近思ったこと～

冒頭にも書いた修学旅行先のこと、「東京が当たり前」になったのはいつからか？ 本校の私と同じ年代の職員に聞いてみると「鎌倉」や「5・6年と2年間観音山」や「愛知県の明治村」等々、いろいろでした。東京が主流になったのは、日本の首都であることはもちろんですが、時代の流行りもあるように思います。行き先はともかく、隣を見ると笑っている友達の顔、帰校し出迎えてくれた5年生からのお迎えのメッセージ…それらは、6年生の子供たちが大人になってからも心の支えになる原風景になるのでしょうか。

